

ニュージーランド 今季のジャズリンゴの輸出開始は順調

[PRODUCE PLUS 2024年3月13日](#)

ほぼ完璧な気象条件とサイクロン・ガブリエルからの復旧努力により品質の高い果実に

今シーズン、T&Gグローバル社とその独立系契約生産者らは、ジャズ、エンヴィ等の価値の高いブランドリンゴを含む、合わせて400万箱相当以上のリンゴを収穫する予定である。

同社の業務責任者であるクレイグ・ベティ氏は、樹上には良質な果実があり、2023/24年度のニュージーランド産リンゴの出荷は良好なスタートを切ったと述べた。(以下「」は同氏の発言)

「全国的にリンゴの生育条件はほぼ完璧で、日中は晴れて暑く、夜は涼しく、果実の着色と食味が素晴らしくなった。弊社のジャズリンゴは、消費者が好んで求める歯ざわりの良さと甘酸っぱい風味のバランスが完璧で、素晴らしい食味である。」

ベティ氏は、ホークスベイ地方のジャズの生産量は昨年のサイクロン・ガブリエルの影響を受けたが、復旧努力により、今シーズンは品質の高い果実を実らせることができると述べた。

「昨年は、ちょうど収穫が始まる直前にサイクロン・ガブリエルがホークスベイ地方を襲い、一部のジャズの出荷量に影響が出た。弊社のチームは、独立系の契約生産者らとともに、被害を受けた果樹園の片づけと復旧のために膨大な量の作業を行った。今シーズンの収穫物の品質は、彼らの献身と努力の証である。」

同社とその契約生産者らは、ギズボーン地方のタイラフィティ地域やホークスベイ地方で、ポップ、ロイヤルガラ、パシフィッククイーンなどの早生品種の収穫を2月上旬に開始し、3月にはジャズの収穫が始まった。その数週間後には南島のジャズの収穫が始まる。3月下旬には最初のジャズがネイピア港からアジアに向けて出荷される。同社のエンヴィブランドの高級リンゴは4月上旬から収穫が始まる。

「ジャズは、既にニュージーランドの人々が全国の店舗で入手できるのに加えて、3月下旬にホークスベイ地方から香港に向けて最初の出荷が始まり、その後数か月にわたって中国、日本、マレーシア、タイ、ベトナムでも手に入るようになる。」

また、ホークスベイ地方にある同社の自動化された最新鋭の梱包施設が出荷シーズンを通して稼働するのもこれが初めてだ。

「ワカツ地区(ホークスベイ地方)にある弊社の梱包施設は、世界有数のAI選別、果実用ソフトハンドリング技術、果実梱包・パレット積みロボット等を活用することで、果実の品質を優先しつつ、増え続ける果実を処理する能力を確保するのに役立っている。」

「サプライチェーン全体で、クラス最高の複数のシステムにより、リンゴが良好な状態で市場に届き、取引先と消費者のニーズを満たすことを確保している。」

執筆者: ブリー・カッジャティ

訳注: この翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品等を推奨するものではありません。